

4. 調査結果(2)

【北部穀物輸送インフラの整備状況】

- 道路：主要幹線の内、国道163号（タバジョス回廊）のミリチツバ港に至るまでの120kmのみが未舗装であるが、2018年には終了予定
- 鉄道：南北鉄道（アラグアイア・トカンチンス回廊）南部分、トカンチンス州パウマスからゴイアス州アナポリスまでは運営開始段階で現在入札公示待ち。アナポリスからサンパウロ州エストレラ・ド・エステまでの工事はVALEC社により95%が完成、2017年に入札予定（PPIに選定されている）
- これまで北部の農業生産物は84%が南部から輸出されていたが、2015年には20%が北部港から輸出され、南部輸送インフラへの負担軽減が図られつつある

年	大豆・トウモロコシ輸出量		
	ブラジル全土	南緯16° 以北	南緯16° 以南
2009	4千3百万トン	16%	84%
2015	9千9百万トン	20%	80%



セミナー：農務省発表資料より

ブラジル北部の穀物輸送インフラの位置図(ブラジル運輸省資料に加筆)

4. 調査結果(3)

【PPIと北部穀物輸送インフラ】

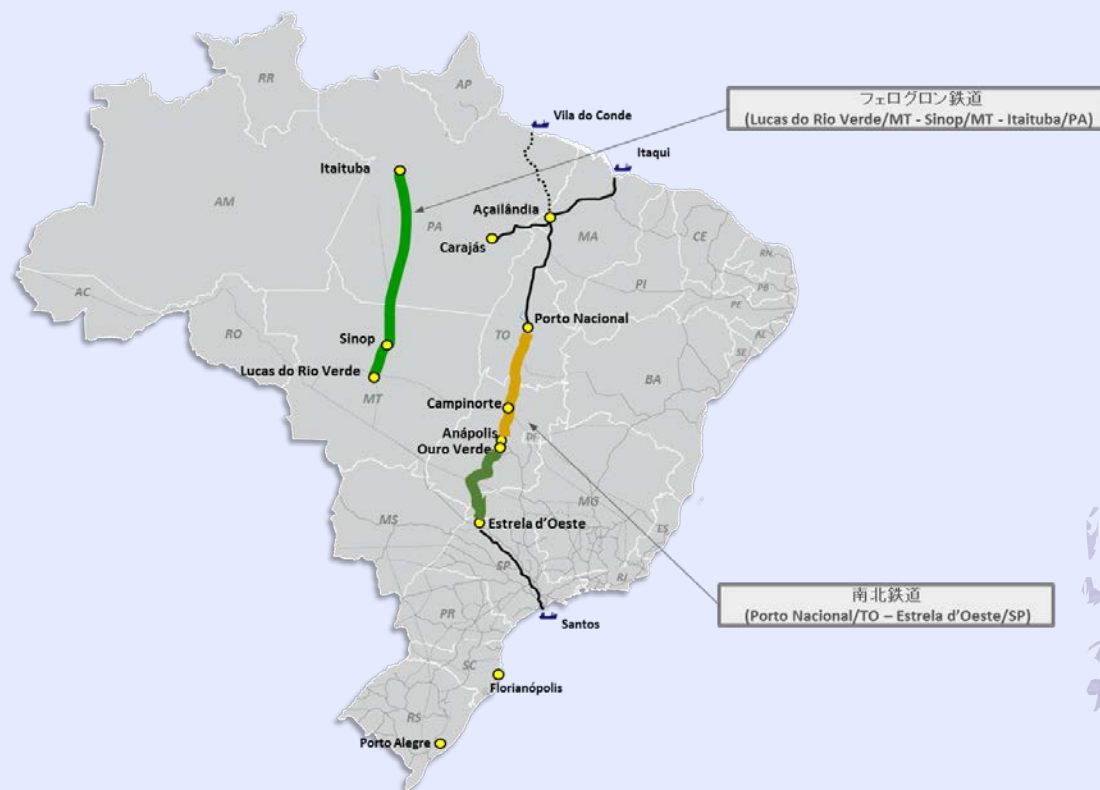
- 2016年9月現在、PPIプロジェクトとして34件が選定されている。
北部穀物インフラ関係では2つの鉄道プロジェクトが選定されている

1) 南北鉄道の南部分

(アラグアイア・トカンチンス回廊：トカンチンス州パウマス～サンパウロ州エストレラ・ド・エステ)

2) フェログロン鉄道

(タバジョス回廊：パラ州ミリチツバ～マットグロッソ州ルークス・ド・リオベルデ)

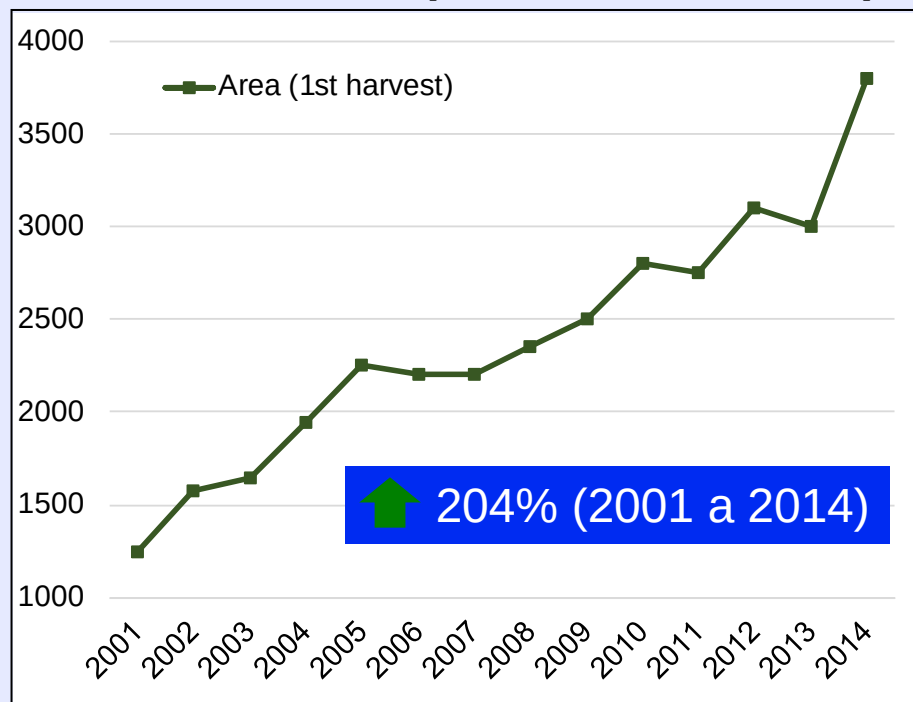


4. 調査結果(4)

【マトピバ地域農業開発：農務省の見解】

- マトピバ地域、マットグロッソ州、リオグランデ・ド・スル州など特定の地域を対象とした特別な政策はなく、ブラジル全体を考慮した政策により生産者が安心して生産できる環境を整えることが役割であり、生産活動は、生産者の意思にまかせる

Production area (thousand hectares)



Source: Conab

セミナー：農務省発表資料より

5. 今後の展望

- ブラジル北部穀物輸送関連の鉄道、道路などのインフラ整備の現状はある程度把握できた一方、PPIでの実際の入札は今年（2017年）以降に予定されており、順調に実施されるか注視する必要がある
- 最も日本企業にとって関心のある「税制」については今回セミナーでは言及が少なく、今後も引き続き関心が強いことを示していくことが重要

ありがとうございました